

第 11 回法人会全国女性フォーラム福島大会報告書

公益社団法人幡多法人会女性部会
部会長 立田 千壽子

4月14日（木）『心ひとつに 伝えよう 繋ごう 創ろう 福島から』をテーマに第11回全国女性フォーラム福島大会が開催されました。

福島県郡山市のビッグパレットふくしまに約1800名の会員が集まり、地場産品のお店などもたくさん並んで大盛況でした。当会からは3名が参加しました。

会場には全国から集まった税に関する絵はがきコンクールの優秀作品が展示されており、租税教室で学んだことを小さなはがきの中に上手に表現していることに感心すると同時に、これからも「子供の租税教育」と「絵はがきコンクール作品募集」は積極的に続けていくべき事業であると強く感じました。

記念講演では、フリーアナウンサー大和田 新（おおわだ あらた）氏が

『伝える事の大切さ、伝わる事のすばらしさ』と題して、津波で家族を失った人たちや原発の被害で苦しむ人たちなど、現場の声を直接取材し、大地震がおきたらどうなるのかということをお私たちに伝えて下さいました。

また東日本大震災から5年という言い方をしますが、現地ではまだまだ震災が続いているのだということを知りました。

いつ起こるかわからない天災ですが、今出来る備えをひとつでも多くしておかなければならないと改めて思いました。

来年第12回女性フォーラムは鹿児島市で開催されるとのことで、鹿児島県連による賑やかなPRが行われ、次回を楽しみに閉会となりました。



【吉田女連協会会長挨拶】



【高知県下より参加の皆様と】